

2023(令和5)年度 大学院連携科目授業時間割 昼間コース 4年 後学期

	I 類				II 類					III 類				
	メディア情報学 プログラム	経営・社会情報学 プログラム	情報数理工学 プログラム	コンピュータサイエンス プログラム	セキュリティ情報学 プログラム	情報通信工学 プログラム	電子情報学 プログラム	計測・制御システム プログラム	先端ロボティクス プログラム	機械システム プログラム	電子工学 プログラム	光工学 プログラム	物理工学 プログラム	
	J	J	I	I	J	I	I	M	M	M	S	S	S	S
月	1							Bb 運動計測学特論 安藤(創) 東4-222						1
	2			Cc シミュレーション工学基礎論 仲谷 西10-113				Bb メカトロニクス特論 金森・東郷 東4-222			Cb 応用電磁気学 中川(賢)・白川(晃) 西 5-101			2
	3			Cc 連続最適化基礎論 村松 ★(秋タームのみ) 西5-214				Bb ロボット応用工学特論 青山・内田(雅)・田中(基) 東4-222						3
	4			Cc アルゴリズム特論 中鹿 西8-132		Cc センシング工学特論 高橋(弘) 西2-101		Ca ロボット機構制御特論 田中(-)・横井 東4-222						4
	5	Bc 画像認識システム特論 柳井 西6-201			Bc 画像認識システム特論 柳井 西6-201	Bc 画像認識システム特論 柳井 西6-201								5
火	1							Bb 知的生産システム特論 森重 東6-237						1
	2			Cc 離散最適化基礎論 岡本(吉) 西8-132				Bb 設計システム工学特論 増田・結城 東4-315						2
	3			Cb 応用アルゴリズム論 小林(聡) 西10-113				Bb 機械情報学特論 高田(昌) 東4-317		Ca 量子エネルギー科学 小林(義) 東6-337			Ca 量子エネルギー科学 小林(義) 東6-337	3
	4		Cc ソフトウェア品質学 ○石川 西5-214		Cc ソフトウェア品質学 ○石川 西5-214	Bb 電磁波環境観測技術特論 芳原 西2-B106	Cb ナノトライボロジー特論 佐々木(成) A102						Cb 生体機能システム学基礎 狩野・星野 東6-204	4
	5	Cc 数理解析学(隔年開講) 齋藤(平) A301			Cc 数理解析学(隔年開講) 齋藤(平) A301									5
水	1													1
	2							Ca ロボット情報工学特論 船戸・仲田 西2-B101		Bb 先端半導体デバイス基礎 一色 西5-214				2
	3													3
	4													4
	5													5
木	1							Bb 力学系現象特論 Matuttis・守 東4-315						1
	2							Bb パーチャルリアリティー特論 杉 A201						2
	3	Bc 情報理論基礎 山口(和) A201			Bc 情報理論基礎 山口(和) A201			Bb ロバスト制御工学特論 金子(修) 東4-222						3
	4			Cc 連続最適化基礎論 村松 ★(秋タームのみ) 西5-214		Cb 回路システム基礎 西(-)・小島 東6-337		Cc センサ信号処理学特論 秋田 西2-106						4
	5	Bb メディアアート論 児玉 西6-201						Cb 生体計測工学特論 小池・正本 東4-201						5
金	1													1
	2							Bb 計算力学特論 千葉・守 B201						2
	3							Cc コンピュータビジョン特論 中村(友) 西2-101						3
	4	Cc 数理統計学基礎 天野 A101			Cc 数理統計学基礎 天野 A101			Ba 組込み制御システム学特論 澤田 西5-101						4
	5													5
曜日 時限 指定 なし			Cc ハイパフォーマンスコンピューティング基礎論 山本(有) 山本(有)											

※注 履修条件及び単位の取扱いについては、学修要覧で確認すること。

※注 担当教員の前の○印は非常勤講師、\*印は学術技師を表す。  
 ※注 科目名の先頭の英字は英語で講義する科目の種別を示す。※別紙参照  
 ※注 授業科目名に★が付いているものは、週2回開講する科目です。

【土曜日】

2時限「実践ソフトウェア開発概論Ⅲ」西野 (I 類 メディア情報学プログラム・経営・社会情報学プログラム・II 類 セキュリティ情報学プログラム) 東3-601

【集中講義】

英語で行う大学院講義の分類表改訂版

		説明言語		
		A:英語のみ	日本語	
			B:英語と日本語を併用する	C:日本語のみ
資料言語	a:英語のみ	<b>Aa</b> :英語で説明し、英語の教材・資料を使う。	<b>Ba</b> :英語と日本語を併用して説明し、英語の教材・資料を使う。	<b>Ca</b> :日本語で説明し、英語の教材・資料を使う。
	b:英語と日本語を併用する	<b>Ab</b> :英語で説明し、英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。	<b>Bb</b> :英語と日本語を併用して説明し、英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。	<b>Cb</b> :日本語で説明し、英語の教材・資料と日本語の教材・資料を併用する。
	c:日本語のみ	<b>Ac</b> :英語で説明し、日本語の教材・資料を使う。	<b>Bc</b> :英語と日本語を併用して説明し、日本語の教材・資料を使う。	<b>Cc</b> :日本語で説明し、日本語の教材・資料を使う。

※教材・資料には、板書を含む。

○英語で行う講義タイプ

**緑**: 日本語のみでの大学院講義の理解が難しい留学生、または、英語のみで講義を理解する英語能力がある日本人学生に向けた講義

**橙**: 英語のみでの大学院講義の理解は難しい日本人学生に対し、専門用語等の理解を中心に、英語力向上に資することも目的とした講義

**黄**: 英語で行う講義には含まない。